

第2回

# 決算書の目利き力を極める！

## ～開催報告～



パネルディスカッションの様子

開催日：H30年

# 4/16日(月)

於：TKC近畿京滋会研修センター

**受講者数33名**

(アンケート結果)

よく理解できた	57%
理解できた	40%
ある程度理解できた	3%
理解できない	0%

※「また、このような研修会を受講したい」というお声が多数ありました!!!



パネラーの  
京都信用金庫様



### ★京都信用金庫様のコメント★

我々も会計事務所様がお客様にどのような事を指導されているのかを知ることができ、大変勉強になりました!!!



【発表者】  
中島晴信 氏  
(税)北浜・中西会計

## 受講者様のお声



よく理解できた！

出てきた決算書をただ見るだけでなく、その裏側に何があるのかを知ることが大事との話しに、我々会計事務所との共通点を改めて感じました。思いは同じなのだ嬉しく思います。



よく理解できた！

京信さんのパネルディスカッションを聞いて、決算書のどのような所を見ているのかを教えてくださいました。グループディスカッションでは森課長が気さくに何でも話して下さってメンバーからの質問の回答もすごく勉強になりました。



理解できた！

普段、金融機関の方のお話を聞く機会が少ないため日頃から疑問に思っていた事など聞くことができ、大変良い経験になった。決算書のどこを金融機関の方が見ておられるかの話で減価償却の調整をしなくても良いという話は特にびっくりした。

### (タイムテーブル)

14:00~14:40	講義 「地域金融機関の役割と税理士との協働」 講師 岡村勇毅 先生 (巡回監査・事務所経営委員長)
14:50~15:30	パネルディスカッション パネラー 京都信用金庫 融資部 森課長 様 西院支店 塩見支店長 様 西院支店 阪田課長 様 コーディネーター 岡村勇毅 先生
15:40~17:00	グループディスカッション

### (講演内容)

1. 地方創生
2. 中小企業の構造的課題
3. 中小企業金融機関の状況
4. 金融行政の対応
5. 企業支援分野での税理士への期待
6. 求められる金融機関と専門家の連携
7. 連携強化の課題



講師：岡村勇毅 先生